

「栽培管理システム」+「データを産地内で共有し、次期の栽培に活用」

＜取組概要＞

水稲・大豆の栽培において、栽培管理システムから得られたデータ（地力・収量等）をアカウント連携者（産地内農業者）とシステムサービス事業者とに共有し、生育状況等のデータ分析を行う。

翌年度以降の施肥計画等にデータ分析結果を活用し、ドローンによる可変施肥等で、地力ムラを無くし、生産性の向上につなげる。

＜生産方式革新事業活動のイメージ 等＞

＜申請者＞

株式会社おしの農場__山形県天童市

＜対象品目＞

水稲、大豆

＜計画の実施期間＞

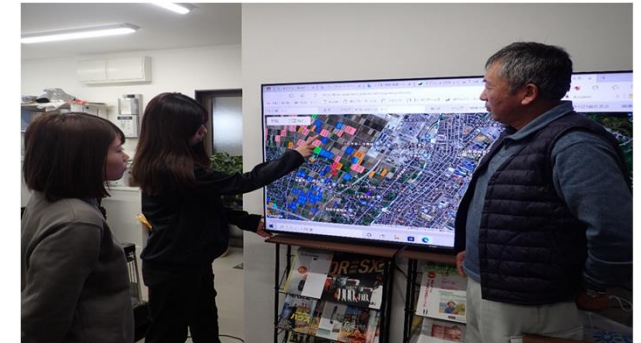
5年間

＜活用予定の支援措置＞

補助事業の優遇措置



株式会社おしの農場の社員の皆様



KSASでほ場や作業の進捗状況を把握し、次代の役職員の有益な経営管理の指標として活用



ザルビオ(xarvio)フィールドマネージャーの地力データや生育データを基に可変施肥やドローン散布を実施し、作業の効率化とコストの削減を実現

